

国際アンデルセン賞（画家賞）

2012年度の受賞者、これから予想される受賞者

国際アンデルセン賞は、児童文学に寄与した人に対して国際児童書評議会（IBBY）によって与えられる国際的な賞です。作家賞と画家賞があり、隔年毎に受賞者が選ばれます。2012年度、作家賞はマリア・テレサ・アンドゥルエット（アルゼンチン）、画家賞はピーター・シス（チェコ）に決定しました。アンデルセン賞選考ではまず作家賞、画家賞とも各30人ほどの候補者が挙げられ、そのなかから絞り込まれていきます。候補者の誰もが受賞してもおかしくないほどのレベルの高さです。ここでは画家賞に焦点をあて、2012年度受賞者ピーター・シスの作品、2012年度の候補者の作品、また次回2014年度以降に受賞が予想される挿絵画家の作品を展示しました。

2012年のアンデルセン賞（画家賞）受賞者 Peter Sís の作品

★Peter Sís（1950～）ピーター・シス（チェコ）

父は映画製作者、母も芸術家という家庭に育つ。プラハの美術アカデミー、ロンドンの美術大学で学んだあと、映画の仕事に携わる。その後、アメリカに移住する。New York Times Book Review の最優秀絵本、コルデコット賞オナーブック、ホーンブック賞、ドイツ児童青少年文学賞に選ばれている。シスの作品は日本でも人気があり、30近い作品が日本語に訳されている。

1) The wall : growing up behind the Iron Curtain（壁：鉄のカーテンの向うで育って） / Peter Sís. New York : Farrar, Straus and Giroux, 2007. 当館請求記号（Y2-B494）

（出版国 アメリカ）シスの自伝ともいべき本です。「鉄のカーテン」とはかつての冷戦時代、ヨーロッパ東欧圏の社会主義国の国々と西側諸国の間を隔てるものの象徴として使われた言葉です。シスはチェコスロバキア（当時）のブルノで生まれ、プラハで育ちます。1989年、社会主義体制が崩壊するまでの日々を自らの子ども時代、青年時代と重ねて描いています。

2) Tibet : through the red box（チベット：赤い箱の向うの） / Peter Sís. New York : Farrar Straus Giroux, 1998. 当館請求記号（Y2-A429）

（出版国 アメリカ）小さい頃、シスの家には赤い箱があり、その中に映画監督だった父親の日記が入っていました。父親はチベットに行ったことがあり、シスにチベットについていろいろな話をしてくれました。後年、シスはチベットに行く機会がありましたが、それは父の話してくれたさまざまな話を思い出しながらの旅でした。幻想とないまぜとなったようなチベットの風景や事物が描かれています。

3) The train of states（アメリカ州づくし） / Peter Sís. [New York] : Greenwillow Books, c2004. 当館請求記号（Y2-B187）

（出版国 アメリカ）アメリカ各州の紹介。明るい色彩で描かれた心弾む楽しい本です。

4) Starry messenger : a book depicting the life of a famous scientist, mathematician, astronomer, philosopher, physicist, Galileo Galilei（星の使者：著名な科学者、数学者、天文学者、哲学者、物理学者であるガリレオ・ガリレイの生涯を描いた本） / created and illustrated by Peter Sís. New York : Farrar, Straus, Giroux, 1996. 当館請求記号（Y3-A52）

（出版国 アメリカ）ガリレオの生涯を描いた美しい絵本です。シスはこれ以外にも『夢を追いかけろ：クリストファー・コロンブスの物語』、『生命の樹：チャールズ・ダーウィンの生涯』なども書いています。

5) Fire truck (しょうぼうじどうしゃ) / Peter Sís. New York : Greenwillow Books, c1998.

当館請求記号 (Y17-A6223)

(出版国 アメリカ) シスの子どものマテイは消防自動車を熱愛していました。朝、起きて最初に口に出す言葉は「しょうぼうじどうしゃ」、おもちゃも消防自動車なら、本も消防自動車。消防自動車についての本を読みつくしたわが子のためにシスは自分で消防自動車の本を書きました。

6) Beach ball (ビーチボール) / by Peter Sís. New York : Greenwillow Books, c1990.

当館請求記号 (Y17-A6818)

(出版国 アメリカ) メリーは海辺に出かけました。ビーチボールが風に飛ばされ、後を追いかけたメリーはさまざまなものを見ます。アルファベット、数字、色、形、対比など子どもが楽しめるすべてが詰め込まれた本です。

7) City night (街の夜) / Eve Rice ; pictures by Peter Sís. New York : Greenwillow Books, c1987.

当館請求記号 (Y17-A6823)

(出版国 アメリカ) 日が暮れて夜のとぼりがおりた街は、明るく輝いて別の顔を見せ始めます。いろんな夜の楽しみのあと、みんなは家に帰ってぐっすり眠ります。

8) Madlenka (マデレンカ) / Peter Sís. New York : Farrar Straus Giroux, 2000.

当館請求記号 (Y17-A6348)

(出版国 アメリカ) ニューヨークに住んでいる女の子・マデレンカ。ある日、マデレンカの歯がぐらつき始めました。大事件です。マデレンカは近所の人々に知らせに行きます。世界中から来た人々が住むニューヨーク。近所に住むのはフランス人のパン屋さん、インド人の新聞売り、イタリア人のアイスクリーム屋さん、ドイツ人の老婦人、ラテン系の八百屋さんなど、まさに世界一周です。世界一周して家に戻ったマデレンカ。ぐらついていた歯は抜けていました。

9) Komodo! (コモド) / by Peter Sís. New York : Greenwillow Books, c1993.

当館請求記号 (Y17-A1553)

(出版国 アメリカ) 恐竜オタクの僕のために両親はインドネシアのコモド・ドラゴンのいるコモド島に連れて行ってくれます。しかし、島はドラゴンではなく観光客でいっぱい。両親は失望したようですが僕はコモド島が大好きです。

2012年の国際アンデルセン賞(画家)の候補者たちの作品

展示は挿絵画家の国の国名のアイウエオ順です。当館所蔵資料のない作家については残念ながら経歴のみです(できるだけ早く代表作をそろえるようにしたいと思います)。

★Chris Raschka (1959～) クリス・ラシュカ (アメリカ)

ペンシルバニア州ハンティングドン生まれ。作家、画家であり、また音楽家でもある。1994年に “Yo! Yes?” がコルデコット賞オナーブックに、2006年に “The hello, goodbye window” でコルデコット賞、ボストングローブ・ホーンブック賞(絵本部門)を受賞。

10) Yo! Yes? (やあ、ともだち!) / by Chris Raschka. New York : Orchard Books, c1993.

当館請求記号 (Y17-A318)

(出版国 アメリカ) 人種も性格も違う2人の少年が道で出会い、1人が “Yo!” と呼びかけ、もう1人が “Yes?” と応えます。ともだちになるのに必要なのは多くの言葉じゃない、「ともだちになろうよ!」単純にその思いだけがあればいいのでは。(日本語訳「やあ、ともだち!」当館請求記号 Y18-10553)

★Pablo Bernasconi (1973～) パブロ・ベルナスコニ (アルゼンチン)

ブエノスアイレス生まれのグラフィックデザイナー。300以上の本の表紙をてがける。アルゼンチン、ドイツ、アメリカ、イギリス、オーストラリア、ブラジル、スペインで活躍し、New York Timesをはじめとする世界中の新聞における仕事をするかたわら、各国の数々の賞を受賞している。児童書は7冊出版しており、8つの外国語に翻訳されている。”El diario del Capitán Arsenio”でシカゴのZena賞を受賞。

(当館所蔵なし)

★John Burningham (1936～) ジョン・バーニングム (イギリス)

イギリスのサリー州生まれ。1964年、はじめて手がけた絵本 "Borka: the adventures of a goose with no feathers" でケイト・グリーンハウエイ賞を受賞。その後1971年に "Mr Gumpy's outing" で再度受賞、この賞を2度受賞した初めての作家となった。

11) Mr Gumpy's outing (ガンピーさんのふなあそび) / John Burningham London: Cape, 1970
当館請求記号 (Y19-A837)

(出版国 イギリス) ある日ガンピーさんがボートをこぎ出すと、次々に「乗せて」という子どもたち、動物たちがやってきます。ボートからみんな落っこちても「また乗りにおいで」と言う優しいガンピーさん。40年以上の長きにわたり愛されている絵本。(日本語訳「ガンピーさんのふなあそび」当館請求記号 Y17-5237)

★Francesco Tullio-Altan (1942～) フランチェスコ・トゥーリオ・アルタン (イタリア)

イタリアのトレヴィーゾ生まれ。建築や映画を学んだ後、舞台装置デザイナー、脚本家として働く。1970年にブラジルへ移住し、2年後に地元の新聞で初めて子ども向け漫画を執筆。1974年にイタリアでの定期的な出版を始める。1年後にイタリアへ戻り、犬のピンパ(Pimpa)というキャラクターを生み出す。

12) Pimpa e- il fungo sognatore (ピンパと夢見るきのこ) / Altan. Modena: Franco Panini ragazzi, c2002
当館請求記号 (Y17-B4696)

ピンパは赤い水玉模様の犬です。きのこがつかまらずいて外れた笠を風で飛ばされてしまい、ピンパにじゃがいもと間違えられたり、新しい笠を作ってもらったりする様子などが、かわいらしく描かれています。

★Mohammad Ali Baniasadi (1965～) ムハンマド・アリ・バニアサディ (イラン)

イラン北部のセムナン生まれ。カマル・アル・モルク・アカデミーで彫刻を学んだあと、イラン青少年知的発達研究所 (KANOON) でアニメーションを学ぶ。その後、テヘラン大学で学んだあと、イラン青少年知的発達研究所 (KANOON) で絵画とアニメーションを教える。1979年以後、新聞の風刺画、デザイナーとして働きながら、挿絵画家としての活動を行う。

13) カラスは飛ぶ: 子どものための詩集

当館請求記号 (Y17-AZ1632)

کلاغ پر : مجموع شعر برای کودکان /

اسدالله شعبانی بیوک ملکی جعفر ابراهیمی شاهد شکوه قاسم نیا محمدعلی بنی اسدی
کانون پرورش فکری کودکان و نوجوانان
1380

イランで現在活躍中の4人の詩人の子ども向け詩集にバニアサディが挿絵を描いています。

★Bob Graham (1942～) ボブ・グラハム (オーストラリア)

オーストラリアのシドニー生まれ。美術学校で絵を学び、その後イラストレーターとして活躍。“Let's get a pup!” で2002年度ポストングローブ・ホーンブック賞、オーストラリア児童図書賞(幼年部門)を受賞している。

14) How to heal a broken wing (きずついたつばさをなおすには) / Bob Graham London: Walker Books, 2008.
当館請求記号 (Y17-B10220)

(出版国 イギリス) 鳥がビルの窓ガラスにぶつかり落ちてきました。小さいウィル以外は誰も鳥を見ず、気付きません。ウィルは落ちた羽と一緒に鳥を家に連れ帰ります。グラハムがよく使うコマ割りをういつつ、再び飛べるようになるまでが柔らかい色とタッチで描かれています。(日本語訳「きずついたつばさをなおすには」当館請求記号 Y18-N09-J39)

★Renate Habinger (1957～) レナート・ハビンガー (オーストリア)

ウィーンの国立芸術教育大学・研究所でグラフィック・デザインを勉強したあとフリーランスで活動。多くの児童書の挿絵を描く。2007年オーストリア児童青少年賞受賞。

15) BieBu: oder Ameisen haben vom Blütenbestäuben wirklich keine Ahnung! (蜂と花の本: 蟻は受粉についてホントに何にも知りません) / [Illustrationen], Renate Habinger; [Text], Michael Stavarič. St. Pölten; Salzburg: Residenz Verlag, c2008.
当館請求記号 (Y17-B11501)

(出版国 ドイツ) 蜂の一族が病気になりました。蟻、蛙、蝸牛、蜻蛉、燕、甲虫など蜂の友達が蜂のやっている受粉作業を肩代わりしようと頑張りますが、うまくいきません。最後に蜂たちが回復して事なきを得ます。

★Annemarie van Haeringen (1959～) アンネマリー・ファン・ハーリングエン (オランダ)

オランダ北ホランド州の古都ハーレム生まれ。Gerrit Rietveld Academie で美術を学んだあと、児童書の挿絵画家として活躍。すぐれた画家に与えられるオランダの「金の絵筆賞」を 1999、2000、2005 年の三回受賞している。

16) Waarom waarom : Tapir en de Kaaiman(なぜ、なぜ：猿と鱷)/ Annemarie van Haeringen ; met hulp van kinderen op Moengo, Suriname. Amsterdam : Leopold, c2009.当館請求記号 (Y17-B13219)
(出版国 オランダ)「なぜ、空は青いの」「どこから海は始まるの?」「どうして僕はこんなに可愛いのか?」と好奇心いっぱいの猿の子ども。おかあさんを質問せめにします。「鱷は夕食に何を食べるの?」と訊いたら、「鱷に訊きなさい」と言われました。そこで猿の子どもは鱷を探して、「鱷は夕食に何を食べるの?」と訊いたところ、鼻先を噛みつかれました。蛇に応援してもらってやっと逃げましたが、猿の子は鼻がのびて象みたいになりました。

★Stéphane Jorisch (1956～) ステファン・ジョーリッシュ (カナダ)

ベルギーのブリュッセル生まれ。カナダのラシーヌ (ケベック) 育ち。イラストレーターとして、カナダ総督文学賞児童書部門など、数々の賞を受賞。子ども向けの本だけでなく雑誌のイラストも手がけている。モントリオール在住。

17) Suki's kimono (スキのきもの) / written by Chieri Uegaki ; illustrated by Stéphane Jorisch. Toronto : Kids Can Press, c2003 当館請求記号(Y17-B3493)
(出版国 カナダ) 主人公のスキが、クラスみんなに笑われても、お気に入りの着物を着続け、最後にクラス全員に受け入れられるまでの様子を、無駄のない洗練された絵で描いています。

★홍성찬 洪性鑽 (1929～) ホン・ソンチャン (韓国)

韓国ソウル生まれ。1955 年に月刊「希望」でデビュー。50 年以上一貫した世界観と、考証を基にした丁寧な絵柄が特徴。1992 年オリニ文化振興会制定第 1 回オリニ文化大賞美術部門受賞、1996 年韓国オリニ図書賞イラスト部門受賞。

18) 여우난골족 (ヨウナンゴル族；狐が出る谷の族) / 백석 시 ; 홍성찬 풀어 쓰고 그림. -- 파주 : 창비, 2007 当館請求記号 (Y17-AZ5258)
(出版国 韓国) 韓国の作家ペク・ソク (백석) の故郷の方言で書かれた詩を、ホン・ソンチャンが子ども向けに書き直しました。主人公の男の子の目から見た韓国の旧正月の風景が、「韓国的な美しさ」と「丁寧な絵柄」で描かれています。

★Έφη Λαδά (1959～) エフェ・ラダ (ギリシャ)

ギリシャのペロポネスにある小さな村で生まれる。同国の著名な画家ヨルゴ・ヴォヤツィスに師事。1991 年より児童書のイラストレーションの仕事始める。60 以上の本の表紙のイラストを手がけている。

19) Το κατεργάρικο αστεράκι (星の誕生) / Ρένα Ρώσση-Ζαΐρη ; Έφη Λαδά Αθήνα Ημερομηνία έκδοσης 1999. 当館請求記号(Y17-B9081)
(出版国 ギリシャ) ベツレヘムに生まれたイエス・キリストのもとへ三人の博士が訪れる様子を描いている絵本。落ち着いたイラストで、とりわけ輝く星の描写が美しい。

★Kathrin Schärer (1969～) カトリーン・シェーラー (スイス)

バーゼルのデザイン学校で学ぶ。学校でスピーチ・セラピストとして働きながら、挿絵画家としての仕事を続ける。2011 年『汽車に乗ったヨハンナ』でスイス児童青少年メディア賞受賞。

20) Mutig, mutig (勇気だめし) / von Lorenz Pauli ; mit Bildern von Kathrin Schärer. Zürich : Atlantis, 2006. 当館請求記号(Y17-B8468)
(出版国 スイス) ある時、友達の雀、蛙、鼠、蝸牛が集まって、誰が一番、勇敢かを示す競争しようということになり、それぞれ知恵を絞ります。鼠は向こう岸まで泳いで往復します。蛙は草を食べてみますが、あまりたいしたことはありません。いろいろ考えるうちに、雀が「僕は参加しない」と言います。みんなは驚きますが「それが勇気だ」と言います。

★Anna-Clara Tidholm (1946～) アンナ=クララ・ティードホルム (スウェーデン)

スウェーデンのストックホルム市生まれ。イラストレーター・作家。30 年にわたって幼児向け絵本などで活躍。特に "Knacka pa! (たたいてみよう)" シリーズや、夫トーマス・ティードホルム作の "Ture (トゥーレ)" シリーズが有名。

21) Knacka på! (たたいてみよう!) / Anna-Clara Tidholm Stockholm Alfabet, c1992.

当館請求記号 (Y17-A6140)

(出版国 スウェーデン) 青い扉の小さな家。こんにちとは違ってドアをたたくと、中にいたのは? 赤い扉、緑の扉、黄色の扉、白い扉、そして最後は…。はっきりした色、線の挿絵と、詩的で短い言葉による彼女の最初の幼児向けの本である本書は、北欧各国のみならず、ドイツ、オランダ、ブラジル、韓国、イスラエルなどで翻訳出版されました。(日本語訳「たたいてみよう!」当館請求記号 Y18-10599)

★Javier Zabala Herrero (1962~) ハビエル・ザバラ・ヘルレロ(スペイン)

スペインのレオン生まれ。同国オビエドのアートスクールでグラフィックデザインとイラストレーションを学ぶ。スペイン、スイス、イタリア、イギリス、中国の主要な出版社で 60 以上の本のイラストをてがける。制作した本は 15 の外国語に翻訳されている。2005 年に” D. Quijote” でボローニャブックフェアの佳作を受賞。同年、” El soldadito salomón” でスペインの文化省によるイラスト賞を受賞。

(当館所蔵なし)

★Peter Uchnár (1970~) ペテル・ウフナル(スロバキア)

スロバキアのボスランツェ生まれ。ブラチスラバ芸術大学卒業後、大学でしばらく教えたあと、フリーで制作を続けている。ブラチスラバ国際絵本画家展・金のりんご賞 (1999)、「スロバキアのもっとも美しい本」(1998, 2004, 2009, 2011) などに選ばれている。

22) Peter Pan (ピーター・パン) / J.M. Barrie ; [ilustracie, Peter Uchnar] Bratislava Slovart, 2008.

当館請求記号 (Y17-B12687)

(出版国 スロバキア) おなじみのピーターパンです。ウフナルは大学時代、ドゥーシャン・カーライ(1988年 アンデルセン賞受賞者)に師事しましたが、その影響がうかがえます。

★Alenka Sottler (1958~) アーレンカ・ソットラー(スロベニア)

リュブリャナに生まれる。父は彫刻家。大学で美術を学んだあと、フリーで仕事を続けている。民話の挿絵などを多く描いている。スロベニア・ブックフェア「もっとも美しい本」(2006)、IBBY オナーブック(2008)クロアチア・ビエンナーレでグランプリ (2010) などに選ばれている。

23) Pepelka (灰かぶり) / Jacob in Wilhelm Grimm ; ilustrirala Alenka Sottler. Ljubljana : Mladinska knj., 2006.

当館請求記号 (Y17-B10581)

(出版国 スロベニア) 本書はグリム童話の「灰かぶり」です。グリム童話の場合は、魔法使いは登場せず、母の墓のそばにある木に来る白い鳥が娘を助けてくれます。靴はガラスの靴ではなく、金、銀の靴などの違いがあります。

★Добросав Боб Живковић (1962~) ドブロサフ・ボブ・ジュブコヴィッチ(セルビア)

セルビアのピロットに生まれる。ベオグラードの美術大学で学ぶ。サイエンス・フィクションや子ども向けの雑誌で人気挿絵画家となる。金の筆賞など国内の重要な児童文学挿絵賞を受賞。

24) Misko Pisko (おしっこミーシャ) / napisao, Simeon Marinkovic ; ilustrovao, Dobrosav Bob Zivkovic.. Beograd Kreativni centar, [2008]

当館請求記号 (Y17-B10671)

(出版国 セルビア) ミーシャはまだおむつがとれません。ミーシャがちゃんとトイレに行けるように家族全員がいろいろ工夫します。

★Charlotte Pardi(1971~) シャロット・パーディ(デンマーク)

ラナースの北の小さな町 Spentrup で生まれ育つ。2000 年に、グレン・リングトゥヴィズ作の ”Rend mig i agterstavnem” で初めて子どもに向けた挿絵を描いたのち、現在までに数多くの絵本の挿絵を手がけている。

25) Graed blot hjerte (泣いてもいい?) / [tekst] Glenn Ringtved ; og [illustrationer] Charlotte Pardi.. [København] Gyldendal, c2001.

当館請求記号 (Y17-B6754)

(出版国 デンマーク) 大好きなおばあちゃんを迎えにきた死神を、4 人の子どもたちは引き止め、連れて行かないでと迫ります。死神はたとえ話をはじめ、「死があるからこそ生が大事なのだ」と言います。死の迫力が絵によって表現され、見送った子どもたちに残る何かを印象づけます。(日本語訳「泣いてもいい? : mortal を考える」当館請求記号 Y18-N06-H20)

★Rotraut Susanne Berner(1948~) ロートラウト・ズザンネ・ベルナー(ドイツ)

ミュンヘンの大学でグラフィック・デザインを勉強し、広告会社で働いた後、フリーランスとして本の挿絵、装丁に携わる。ドイツ青少年文学賞などを受賞。

26)Das Abenteuer (冒険) / Rotraut Susanne Berner. Weinheim Beltz, c1996.

当館請求記号 (Y17-A184)

(出版国 ドイツ) 叔父さん夫婦がターニャに毬をくれました。外で遊んでいると毬がどこかに飛んで行って見えなくなりました。毬は犬のオジさんのところにありました。犬のオジさんは何かしないと返さないといいます。ターニャはいろんなことをやり、毬を無事返してもらいました。

★Feridun Oral (1961～) フェリドゥン・オラル (トルコ)

マルマラ大美術学部卒業後、児童書の挿絵を描くだけでなく、絵画、彫刻、陶芸などの教室を開いている。内外で展示会を開く。1992年野間コンクール佳作受賞。動物をテーマにした作品が多い。

27) Yavru Ahtapot Olmak Çok Zor (赤ちゃん蛸はととても大変) / Yazar, Sara Şahinkanat; Resimleyen, Feridun Oral İstanbul. Yapı Kredi Yayınları. 2008 (未整理資料)

(出版国 トルコ) ニノは子どものたこです。たこの手は8本なので毎日の身づくろいも大変です。セーターを着るのも、手袋をはめるのも8本なので時間がかかります。お母さんは大人になれば大丈夫といいますが、ニノは納得できません。ニノの日常とまわりの海の隣人たちも描かれています。

★加古里子 (1926～) Satoshi kako (日本)

福井県生まれ。東京大学工学部卒。セツルメント運動を通じて子どもと接し、紙芝居や絵本を書くようになる。会社に勤務しながら児童書を描き、のちに会社を辞めて様々な活動を行う。一般的な絵本の他、科学絵本、伝統的な日本文化を描いた本、遊びについての資料集などさまざまな本を出している。作品は海外にも翻訳されている。

28) 烏鴉麵包店 (からすのパンやさん) / 加古里子文・圖, 陸蘭芝譯. 新店: 巨河文化, 2001.6.

当館請求記号 (Y18-AZ247)

(出版国 台湾) からすのパンやさんの家に4匹の子カラスが生まれました。忙しくて家業のパンやはさびれがちでしたが、4匹が保育園に行くようになって食べているパンが子どもたちの注目を浴びます。パンやさんは子どもたちのためにさまざまなパンを焼いてパンやさんは大繁盛になります。多種類のパンは読者の子どもたちの目を惹きつけてやみません。

★Øyvind Torseter (1972～) ウェイヴィンド・トロセター (ノルウェー)

イラストレーター・作家。ノルウェーのオスロやイギリスでイラストを学び、1998年からオスロでフリーランスのイラストレーターとして働く。2008年にボローニャ・ラガッツィ賞最優秀賞を受賞。

29) Avstikkere (寄り道) / Øyvind Torseter [Oslo] Cappelen, c2007. 当館請求記号 (Y17-B9395)

(出版国 ノルウェー) 典型的な子ども向けの本ではなく、進んでいくストーリーはありませんが、すべての絵それ自体が物語である一冊です。2008年ボローニャ・ラガッツィ賞フィクションの部最優秀賞受賞作品。

★Virpi Talvitie (1961～) ヴィルピ・タルヴィティエ (フィンランド)

ヘルシンキ芸術デザイン大学でグラフィックデザインを学ぶ。パステルと水彩絵の具を駆使した技法が作品の特徴で、児童書の挿絵のほか、新聞や雑誌にもイラストを描いている。2006年、2008年にもアンデルセン賞候補となっている。

30) Satu joka oli totta (本当だったおとぎ話) / kirjoittanut Katri Tapola; kuvittanut Virpi Talvitie Helsinki Tammi, c2004. 当館請求記号 (Y17-B8703)

(出版国 フィンランド) 冒険者のマントをはおった少年は、おとぎの世界をさまよひ、オオカミ、狐、ハリネズミと出会い、怒り、恐れ、悲しみ、愛しさを体験し、物語は母親の隣で目覚めるところで終わります。森の情景と少年の感情とが、パステルと水彩で鮮やかに描き出されています。

★Roger Mello (1965～) ロジャー・メッロ (ブラジル)

ブラジルのブラジリア生まれ。デザインを習得した後、ブラジルの著名なイラストレーター Ziraldo と共に仕事をする。映画、演劇、イラストレーションといった様々なメディアで創作活動をしており、これまでに100冊以上の本を出版している。

31) João por um fio (糸をたどるジョアン) / texto e desenhos de Roger Mello. São Paulo: Companhia das Letrinhas, 2005. 当館請求記号 (Y17-B7048)

(出版国 ブラジル) 糸で織りなされる様々な場面に、主人公ジョアンが登場する様子を、詩的な文章をのせて描いている。繊細にして素朴なタッチで、読者に親しみを感じさせる絵である。

★Henri Galeron (1939～) アンリ・ガレロン (フランス)

フランス南東部のブーシュ・デュ・ローヌ県生まれ。デッサンを学んだ後、1967年にNathan出版社に入社。1972年から1974年まで、教育用ゲームの美術指導をした後、独立し、本のイラストレーションの仕事始める。1987年から1990年までは、リヨンでイラストを教える仕事に携わっていた。

32) Mon kdi n' est pas un kdo (私のカートは贈り物ではありません) / Michel Besnier ; illustrations de Henri Galeron. Urville-Nacqueville : Motus, c2008. 当館請求記号 (Y17-B12146)

(出版国 フランス) 言葉遊びの詩集です。言葉は次々に暴走し、画家がパレットに料理をのせ、ナイフで創作活動をしていたり、ハエが買い物カートを使っていたり、釣り人が魚にのってその魚を釣っていたり、といった世界が出現してしまいます。

★Arnal Ballester (1955～) アルナル・バレスター (ベネズエラ)

スペインのバルセロナ生まれ。イラストレーターとして出版活動をしており、30冊以上の本を出している。1993年にスペイン文化省の児童書イラスト賞を受賞。1998年より報道メディアや雑誌のイラストを執筆するが、子ども向けの本も引き続き出版。2002年にアニメーションの仕事を始め、数々の賞を受賞。2005年にボローニャ・ブックフェアで招待国となったスペインの絵本画家として出展。バルセロナの Escola Massana d'Art Disney という学校で教鞭をとっている。

33) Jack and the beanstalk = Juan y los frijoles mágicos (ジャックと豆の木) / adaptation by Francesc Bofill ; illustrations by Arnal Ballester. San Francisco, Calif. : Chronicle Books, c1998.

当館請求記号 (Y17-A6221)

(出版国 アメリカ) ジャックはお乳を出さなくなった山羊とひきかえに、お金ではなく豆を手に入れます。母親は怒って豆を庭にまくと、庭に巨大な豆の木が育ち、ジャックは豆の木を登って行くというおなじみのお話です。英語・スペイン語併記。

★Louis Joos (1940～) ルイ・ジョス (ベルギー)

ブリュッセル生まれ。ブリュッセルの王立美術学校で学んだあと、漫画家として活躍。ラスカルの筆名で知られるパスカル・マテと知り合い児童文学の挿絵を行うようになる。1993年ボローニャ・ブックフェア挿絵賞受賞、1995年ブラチスラバ・ビエンナーレで金のリングゴ賞受賞。

34) Marilyn Rouge (赤いマリリン) / texte de Rascal ; illustrations de Louis Joos. Paris : École des loisirs, c2009. 当館請求記号 (Y17-B12272)

(出版国 フランス) マリリンというのは叔父の持っている赤いトラックの名前で、また奥さんの名前でもあります。どちらも叔父の大事なものです。この叔父のトラックで1525キロ離れたスペインにこのトラックで行くことになりました。4日間の旅です。旅の途中、犬と一緒にになります。さまざまなことがあった旅ですが、やっとなある朝、スペインに着きます。柔らかな線と美しい色で描かれた絵本です。

★Anita Paegle (1956～) アニタ・パエグレ (ラトビア)

ヤニス・ローゼンタール美術学校、ラトビア美術大学で学んだあと、挿絵画家として活躍。作品はIBBYオナーブック(2000)などに選ばれている。

35) Night adventures of the clocks : fairy tales (時計たちの夜の冒険 : おとぎ話) / [text by] Mara Cielena ; [illustration by] Anita Paegle ; [translation from Latvian by] Igor Samovskiy Riga : Jana seta 1997 当館請求記号 (Y17-A1841)

(出版国 ラトビア) 時計たちは黙って時を刻んでいるだけではありません。時計たちは人々が寝静まった深夜、こっそり家を抜け出して公園に集まりさまざまな話をしているのです。標題の話の他に、チェスの駒が、案山子、人形などが生き生きと動くお話など全部で7編の話が収録されています。

★Valeria Moldovan (?～) ヴァレイア・モルダヴァン (ルーマニア)

ルーマニアのブラショフ美術大学で学んだあと、クルージュ＝ナポカの Decoration and Plastic Arts Institute で学ぶ。広告会社でグラフィック・デザイナーとして働いた後、児童書を含む挿絵の仕事もするようになった。

(当館所蔵なし)

★Геннадий Константинович Спирин (1948～) ゲンナージ・コンスタンティーノヴィッチ・スピリン(ロシア)

モスクワ近くのオレホヴェズエボで生まれる。スリコフ名称モスクワ芸術大学付属高校、ストロガノフ名称美術大卒。1983年ブラチスラバ・ビエンナーレで金のりんご賞受賞をはじめとして数多くの賞を受けている。現在はアメリカ在住。

36)The tale of the Firebird (火の鳥) / Gennady Spirin ; translated by Tatiana Popova. New York Philomel Books c2002. 当館請求記号 (Y17-B9169)

(出版国 アメリカ) ロシア民話「イワン王子と火の鳥と灰色の狼」の話です。王様の庭にある金のリンゴの木のリンゴを火の鳥が食べに来ます。王様は三人の王子に火の鳥を捕まえるように命じます。兄の二人の王子は捕らえることはできませんでしたが、末っ子のイワン王子は灰色の狼の助けによって、火の鳥を捕まえます。またエレナ姫を得て王様の跡継ぎになります。

2012年までのアンデルセン賞(画家賞)受賞者の国別・地域別分布は下記のとおりです。

年度/地域	ア ジ ア	ヨー ロ ッ パ	ア フ リ カ	北 米	南 米	オ セ ア ニ ア
1966		スイス				
1968		旧チェコスロバキア				
1970				アメリカ		
1972		デンマーク				
1974	イラン					
1976		旧ソ連				
1978		デンマーク				
1980	日本					
1982		ポーランド				
1984	日本					
1986						オーストラリア
1988		旧チェコスロバキア				
1990		オーストリア				
1992		チェコ				
1994		スイス				
1996		ドイツ				
1998		フランス				
2000		イギリス				
2002		イギリス				
2004		オランダ				
2006		ドイツ				
2008		イタリア				
2010		ドイツ				
2012		チェコ				
累計	3	19	0	1	0	1

この表を見る限りではアンデルセン賞受賞者はヨーロッパ出身者に偏在していることがわかります。しかし、世界の各地域には、それぞれの文化や伝統から生み出されたすぐれた児童書があります。それを念頭におきつつ、2014年以降の候補者を、主に受賞者がいないか少ない国・地域から選んでみました。

2014年以降の予想されるアンデルセン賞（画家賞）受賞者たち

★ حلمي التوني (1934～) ヘルミ・トウニ (エジプト)

エジプトのベニ・スエフ生まれ。大学時代から子どもの本の挿絵を描き始める。1970年代にパレスチナ政府が立ち上げた「アラブの若者社」などをはじめとするアラビア語圏の児童書出版の初期の頃より活動が続いている。ライプツヒブックフェア銅賞(1982)、カイロブックフェア児童書賞 (1998)、スザンヌ・ムラバク児童文学賞 (1999)、ボローニャ・ラガッツィ賞のニューホライズン賞(2002)などを受賞。2004年アンデルセン賞候補者。

37)僕と僕のお父さんの舟

当館請求記号 (Y17-AZ5956)

9002 أنا و مراكب أبي / جار التبي الحلو؛ حلمي التوني لقاهرة دار الشروق

(出版国 エジプト) お父さんが紙で舟を作ってくれました。僕は舟の作り方を習って自分で作れるようになりました。舟を見ながらいろんなことを想像します。さらに舟やその周辺の歴史についてのいろんなことを学んだりしました。

★Shaun Tan (1974～) ショーン・タン (オーストラリア)

中国系移民の父とオーストラリア人の母の間にオーストラリアで生まれ、パースで育つ。10代で雑誌のSF小説やホラー物語の挿絵を描き始めた。“The Arrival” で、2007年にボローニャ・ラガッツィ賞フィクションの部特別賞及びオーストラリア児童図書賞絵本部門、2008年にボストングローブ・ホーンブック賞特別賞を受賞。タンは自身の作品のアニメーション映画、ミュージカル、劇の製作にも携わり、映画“The Lost Thing”は、2011年にアカデミー賞短編アニメーション賞を受賞、また同年、タンは第9回リンドグレーン記念文学賞(The Astrid Lindgren Memorial Award)の受賞者ともなった。2008年アンデルセン賞候補者。

38)The arrival (到着) / Shaun Tan Melbourne : Lothian Books, 2006 当館請求記号 (Y16-B228)

(出版国 オーストラリア) 主人公は愛する家族に別れを告げ、ただ一人、家族も友達もない、言葉も通じない、見知らぬ世界へ旅立ちます。文字のない本で、絵だけが彼の不安、心細さを伝えます。これは果たして子どもの本でしょうか? 「移民の物語」と説明することはできるでしょうが、この不思議な世界で何を感じるかに、「大人」も「子ども」もないということでしょう。

★Mendibay Alin (1953～) メンディバイ・アリン (カザフスタン)

カザフスタン アルマ・アタ美術学校で美術を学び、モスクワ・ポリグラフィック研究所でグラフィック・デザインを学ぶ。出版社勤務のイラストレーター、児童書イラストレーション出版協会会長を経て、現在、カザフスタン共和国国立銀行のチーフ・デザイナーで貨幣のデザインを担当。(野間コンクールの受賞者プロフィールより)

39) Tazsha balanġyng taŋghazhaiyl tirligi = Priklūcheniā Tazsha-baly = Adventures of Tazsha-bala. (タズシャ・バラの冒険) Almaty : Almatykītap, 2002. 当館請求記号 (Y17-B5362)

(出版国 カザフスタン) 孤児のタズシャ・バラが人々を苦しめている地主や領主などを懲らしめる話です。タズシャ・バラの話はカザフスタンで親しまれており、オペラにもなっています。

★Sybil Wettasinghe (1928～) シビル ウェッタシンハ (スリランカ)

スリランカ生まれ。独学で絵を学ぶ。17歳より新聞社に勤務し、子ども向けの記事をイラストつきで執筆。20歳になって初めて絵本を出版。『かさどろぼう』で第三回野間国際絵本原画コンクールに入賞。「かさどろぼう」「にげだしたひげ」など日本語に訳された作品も多い。

40) Baḷal raṭaṭa ā puduma amuttō (ねこのくにのおきゃくさま) / Sybil Wettasinghe Kōlamba : Suraniganī Suvecchā Sēvaya, 2003. 当館請求記号 (Y17-AZ3533)

(出版国 スリランカ) 猫の国の猫たちは楽しみも知らず、ただ働くばかりでみな不機嫌そうです。そこに舟に乗ってきた不思議な客がありました。この二人の客は猫たちに踊りを踊ったり、楽器を奏でることを教えます。猫たちは楽しむことを覚え、生活は楽しいものになりました。(日本語訳「ねこのくにのおきゃくさま」当館請求記号 Y18-11460)

★Fernando Vilela (1973～) フェルナンド・ヴィレラ (ブラジル)

サンパウロ生まれ。イラストレーター、造形美術家、デザイナーとして活躍。ブラジル内外で展覧会を開いている。下記に紹介する「Lampião & Lancelote」で2007年ボローニャ国際児童図書賞（ボローニャ・ラガッツィ賞）ニューホライズンの部の優秀賞を受賞。

41) Lampião & Lancelote (ランピアンとランスロット) / Fernando Vilela. São Paulo : Cosac Naify, c2006. 当館請求記号 (Y17-B8784)

(出版国 ブラジル) アーサー王物語に登場する英国の騎士ランスロットが、20世紀前半のブラジルに迷い込む物語。ゴム版画や金銀の配色が特徴的で、力強い作品に仕上がっています。

★Manuela Bacelar (1943～) マヌエラ・バセラル (ポルトガル)

ポルトガルのコインブラ生まれ。1964年から1970年までチェコに留学し、イラストレーションを学ぶ。公務員として働いた後、1989年よりイラストレーターとしての仕事に専念。同年、ブラチスラバ世界絵本原画展で、金のりんご賞を受賞。画家、イラストレーター、デザイナー、アニメーション映画作家として活躍している。

42) O meu Avô (ぼくのおじいちゃん) / Manuela Bacelar. Porto : Afrontamento, 2003.

当館請求記号 (Y17-B9843)

(出版国 ポルトガル) おじいちゃんと孫の交流がテーマになっています。一緒に遊んでいる場面や、鍋からあふれ出したお菓子料理を囲んでパーティーをしているところなどがあたたかいタッチで描かれています。

★Niki Daly (1946～) ニキ・ダリー (南アフリカ)

ケープタウン生まれ。アパルトヘイトの時代に強制移住が行われた六区と呼ばれる場所で育ったことはダリーに大きな影響を与えた。最初、音楽家を志すが、経済的に行き詰まり広告などの仕事をしているうちに児童書の挿絵画家となる。アフリカをテーマにした本を描いている。南アフリカの児童文学賞であるカトリン・ハリス賞 (1986)、IBBY オナー・ブック (1994、1995、2000)、ALA ブルー・リボン賞 (2000) などを受賞。2004年度アンデルセン賞候補者。

43) Fly, eagle, fly! : an African tale (飛べ、鷲よ、飛べ!) / retold by Christopher Gregorowski ; pictures by Niki Daly. Cape Town : Tafelberg, 2000. 当館請求記号 (Y17-B4422)

(出版国 南アフリカ) 一人の農夫が峡谷の岩のところで鷲の雛を見つけ、家に連れて帰ります。農夫は家にいる鶏と一緒にその雛を育てます。ある時、農夫の友達がやってきて、「お前は鶏じゃない、鷲なんだ。地上じゃなくて空にいるものなのだ。飛べ、鷲よ、飛べ」と飛ばせようとしませんがうまく飛ばません。しかし、その友人はあきらめず、夜明けに鷲を伴って山へ行きます。朝の光の中で鷲は空へと飛び去って行きます。

★Болормаа Баасансүрэн(1982～) ボルマー・バーサンスレン(モンゴル)

モンゴル美術学院卒。イタリアとロシアで児童書のイラストレーションを学ぶ。フリーランスのイラストレーター、画家。絵本『馬上的話』は1999年のモンゴル・ベストブック賞を受賞。イタリアの文化協会テアトリオとユニセフ主催の国際イラストレーション・コンペティション(ヴェニス)で2001年6位、2002年5位入賞。『モンゴルの黒い髪』は2004年第19回国民文化祭上陽町絵本大会(福岡)でグランプリ受賞(野間コンクールのプロフィールから)

44) Нүүдэлчин одны үлгэр/ Гомбожавын Мэнд-Ооёо= The tale of the traveling star / Gombojavyn Mënd-Ooya ; translated by S. Sumiya. Ulaanbaatar : G. Mend-Ooya, 2005.

当館請求記号 (Y17-B10867)

(出版国 モンゴル) むかしむかしアルタン・ボンバライとムンゲン・ボンバライという兄弟がいました。二人は両親とともに住み慣れた故郷をあとにして新しい土地へと移住しようとしています。たくさんの家畜を連れての移動なので先頭に行く母と兄弟と、最後尾の父親は遠く離れてしまいます。しかし、父親が止まらずに進むようにと言っていたので、先頭をいく母と兄弟は地の果てから天へと旅を続け、星たちや天の王様に会うこととなります。落ち着いた色彩ではるかな旅が描かれています。

(付録)

2012 年度国際アンデルセン賞 (画家賞) 受賞者 Peter Sís 著作 所蔵一覧 (2012.4.18 現在)

番号	書名	作者名	出版社	出版年	当館所状況 当館請求記号
1	Stories to solve : folktales from around the world	told by George Shannon ; pictures by Peter Sís.	HarperTrophy,	2000	Y8-B7797
	どうしてかわかる?	ジョージ・シャノン 文 ; ピーター・シス 絵 ; 福本友美子 訳.	晶文社,	2005.10.	Y9-N05-H413
2	The whipping boy	by Sid Fleischman ; illustrations by Peter Sis.	Greenwillow Books	c1986.	Y8-A293
	身がわり王子と大どろぼう	シド=フライシュマン 作 ; 谷口由美子 訳 ; ピーター=シス 絵.	借成社,	1989.12.	Y8-6960
	身がわり王子と大どろぼう	シド=フライシュマン 作 ; ピーター=シス 絵 ; 谷口由美子 訳.	童話館出版,	2011.11.	Y9-N12-J61
	El niño que pagaba el pato	Sid Fleischman ; traducción Javier Lacruz ; ilustraciones de Peter Sis.	Santillana,	c1996.	Y8-A906
3	Rainbow Rhino	by Peter Sis.	Knopf	c1986	未所蔵
	ずーっとしあわせ	ピーター・シス 作 ; 二宮由紀子 訳.	ブックローン出版,	1996.6.	Y18-12431
4	City night	Eve Rice ; pictures by Peter Sis.	Greenwillow Books,	c1987.	Y17-A6823
5	Raibow Rhino	story and pictures by Peter Sis.	A.A. Knopf	c1987	Y17-B13510
6	The scarebird	Sid Fleischman ; pictures by Peter Sis.	Greenwillow Books,	c1988.	Y17-A851
	かかし	シド・フライシュマン 文 ; ピーター・シス 絵 ; 小池昌代 訳.	ゴブリン書房,	2007.4.	Y18-N07-H172
7	The ghost in the noonday sun	Sid Fleischman ; illustrations by Peter Sis.	Greenwillow Books,	1989, c1965.	Y8-A611
8	Going up	by Peter Sis.	Greenwillow Books,	1989	未所蔵
	エレベーターのおきやくさま : いろ とかずもたのしめる本	ピーター=シス さく ; おおつきみずえ やく.	借成社,	1991.6.	Y18-5799
9	Beach ball	by Peter Sis.	Greenwillow Books,	c1990.	Y17-A6818
	ビーチボール	ピーター・シス さく.	ブックローン出版,	1996.8.	Y18-12695
10	The midnight horse	Sid Fleischman ; illustrations by Peter Sis.	Greenwillow Books,	c1990.	Y8-A979
11	More stories to solve : fifteen folktales from around the world	told by George Shannon ; pictures by Caldecott Honor ; illustrator Peter Sís.	Harper Trophy,	2000	Y8-B7645
	あたまをひねろう!	ジョージ・シャノン 文 ; ピーター・シス 絵 ; 福本友美子 訳.	晶文社,	2005.10.	Y9-N05-H414
12	Follow the dream	by Peter Sis.	Knopf,	c1991.	Y3-A10
	夢を追いかける : クリストファー・ コロンブスの物語	ピーター・シス 作 ; 吉田悟郎 訳.	ほるぷ出版,	1992.4.	Y18-7199

13	An ocean world	by Peter Sis.	Greenwillow Books	1992	未所蔵
	オーシャンワールド	ピーター・シス 作.	ブックローン出版,	1995.5.	Y18-11137
14	The dragons are singing tonight	Jack Prelutsky; Peter Sis	Greenwillow Books	©1993.	未所蔵
	ドラゴンたちは今夜もうたう	ジャック・プリラツキー 詩 ; ピーター・シス 絵 ; 小野耕世 訳.	偕成社,	1995.8.	Y18-10932
15	A small tall tale from the far north	by Peter Sis.	Knopf	©1993	未所蔵
	とおいとおい北の国のちいさなほら 話	ピーター・シス 作 ; 松田素子 訳.	BL 出版,	2000.2.	Y18-N00-492
16	Komodo!	by Peter Sis.	Greenwillow Books,	c1993.	Y17-A1553
	コモドっ!	ピーター・シス 作・絵 ; 二宮由紀子 訳.	ブックローン出版,	1994.6.	Y18-9876
17	Still more stories to solve	by George Shannon; Peter Sis	Greenwillow Books	©1994.	未所蔵
	やっとわかったぞ!	ジョージ・シャノン 文 ; ピーター・シス 絵 ; 福本友美子 訳.	晶文社,	2005.11.	Y9-N06-H40
18	The 13th floor : a ghost story	Sid Fleischman ; illustrations by Peter Sis.	Greenwillow Books,	c1995.	Y8-A553
19	Monday' s troll	poems by Jack Prelutsky ; pictures by Peter Sis.	Greenwillow Books,	c1996.	Y17-A1550
20	Starry messenger : a book depicting the life of a famous scientist, mathematician, astronomer, philosopher, physicist, Galileo Galilei	created and illustrated by Peter Sis.	Farrar, Straus, Giroux,	1996	Y3-A52
	Der Sternenbote : ein Bilderbuch über das Leben des berühmten Naturwissenschaftlers, Mathematikers, Astronomen, Philosophen und Physikers Galileo GalileiSis ; aus dem Amerikanischen von Tatjana Michaelis.	erzählt und mit Bildern versehen von Peter Sis	C. Hanser,	1996	Y3-A3
	星の使者 : ガリレオガリレイ	ピーター・シス 文・絵 ; 原田勝 訳.	徳間書店,	1997.11.	Y3-M98-35
21	Sleep safe, little whale : a lullaby	Miriam Schlein ; pictures by Peter Sis.	Greenwillow Books,	c1997.	Y17-A6991
22	Fire truck	Peter Sis.	Greenwillow Books,	c1998.	Y17-A6223
	マットくんのしょうぼうじどうしゃ	ピーター・シス さく ; 中川ひろたか やく.	BL 出版,	1999.11.	Y18-N00-333

23	Tibet : through the red box	Peter Sís.	Farrar Straus Giroux,	1998	Y2-A429
24	Ship ahoy!	by Peter Sís.	Greenwillow Books,	c1999.	Y17-A6565
	マツくんのふねふねヤッホイ!	ピーター・シス さく ; 中川ひろたか タイトル訳.	BL 出版,	2000.7.	Y18-N01-213
25	Trucks, trucks, trucks	by Peter Sís.	Greenwillow Books,	c1999.	Y17-A7443
	マツくんのトラックトラック	ピーター・シス さく ; 中川ひろたか やく.	BL 出版,	2000.6.	Y17-N01-270
26	Madlenka	Peter Sís.	Farrar Straus Giroux,	2000	Y17-A6348
	マドレンカ	ピーター・シス 作 ; 松田素子 訳.	BL 出版,	2001.7.	Y18-N02-150
27	Dinosaur!	Peter Sís.	Greenwillow Books	2000	未所蔵
	マツくんのきょうりゅうだ!	ピーター・シス さく.	BL 出版,	2001.2.	Y18-N01-474
28	The three golden keys	Peter Sís.	Farrar, Straus and Giroux,	2001	Y17-B2309
	三つの金の鍵 : 魔法のプラハ	ピーター・シス 作 ; 柴田元幸 訳.	BL 出版,	2005.3.	Y18-N05-H367
29	Ballerina!	by Peter Sís.	Greenwillow Books,	c2001.	Y17-B3880
	わたしはバレリーナ	ピーター・シス さく ; 松田素子 やく.	BL 出版,	2002.9.	Y18-N03-H291
30	Le marchand d' ailes	conte de Jacques Taravant ; illustré par Peter Sís.	Grasset jeunesse,	c1997.	Y17-A2407
	The little wing giver	by Jacques Taravant; Peter Sís; Nina Ignatowicz	Henry Holt & Co.	2001	未所蔵
	さあ、羽をあげるよ	ジャック・タラヴァン 文 ; ピーター・シス 絵 ; いしづちひろ 訳.	BL 出版,	2003.5.	Y18-N04-H114
31	Madlenka' s dog	by Peter Sís.	Farrar Straus Giroux,	2002	Y17-B1382
	マドレンカのいぬ	ピーター・シス 作 ; 松田素子 訳.	BL 出版,	2004.4.	Y18-N04-H496
32	Scranimals	poems by Jack Prelutsky ; pictures by Peter Sís.	Greenwillow Books,	c2002.	Y17-B2218
33	The tree of life : a book depicting the life of Charles Darwin, naturalist, geologist & thinker	by Peter Sís.	Farrar Straus Giroux,	2003	Y11-B158
	生命の樹 : チャールズ・ダーウイン の生涯	ピーター・シス 文・絵 ; 原田勝 訳.	徳間書店,	2005.6.	Y3-N05-H65
34	Animal sense	by Diane Ackerman ; with illustrations by Peter Sís.	A.A. Knopf,	c2003.	Y17-B2312

35	The train of states	Peter Sís.	Greenwillow Books,	c2004.	Y2-B187
36	The wall : growing up behind the Iron Curtain	Peter Sís.	Farrar, Straus and Giroux,	2007	Y2-B494
	かべ : 鉄のカーテンのむこうに育って	ピーター・シス 作 ; 福本友美子 訳.	BL 出版,	2010.11.	Y3-N11-J99
37	The dreamer	by Pam Muñoz Ryan ; drawings by Peter Sís.	Scholastic,	2010	Y8-B10659
38	Madlenka, soccer star.	Peter Sís.	Frances Foster Books	2010	未所蔵
	マドレンカ, サッカーだいすき!	ピーター・シス 作 ; 松田素子 訳.	BL 出版,	2012.2.	未整理

2012 年度国際アンデルセン賞 (作家賞) 受賞者 María Teresa Andruetto 著作 所蔵一覧

(2012.4.4.18 現在)

番号	書名	作者名	出版社	出版年	当館所状況 当館請求記号
1	El anillo encantado	María Teresa Andruetto ; ilustraciones, Patricia Melgar.	Editorial Sudamericana	1994, c1993	Y17-A7523
2	La mujer vampiro	María Teresa Andruetto ; ilustraciones, Lucas Nine	Editorial Sudamericana	c2001	Y8-B2117
3	Fefa es así	María Teresa Andruetto ; Istvansch	Alfaguara	2005	Y17-B10747
4	Veladuras	María Teresa Andruetto	Grupo Editorial Norma	2005	Y8-B7980
5	Stefano	María Teresa Andruetto ; traducción Ánxela Gracián	Galaxia	c2010	Y8-B11060